

【神道文化学部】

筆記試験

解答例（解答のポイント）

※公開する解答例には、別解がある場合があります。

大問 1

問 1

- (1) ト (2) セ (3) イ (4) コ (5) カ (6) ヒ (7) モ (8) ハ (9) シ (10) ム  
(11) ヌ (12) エ

問 2

「公益」とは、不特定多数の人々の精神的、経済的な利益の増進に資することであり、「私益」に対置される。神社は人々の心のよりどころである、と言われるが、その基盤となって来た日本の地域社会は、都市への人口集中と過疎化、高齢化の進む現代において縮小衰退の局面にある。

しかし、神社のまつりを場として人々の交流や信頼関係の維持が行われ、次世代への文化の継承が試みられている事例も、今なお各地に確実に存在している。また大規模災害の際に避難場所として神社が機能した例や、保育園や幼稚園を神社が運営している例など、単に神社自身の存続必要性を超えた社会貢献の例も少なくない。

公共のための祈りをささげる申請な空間であること、また人々に解放された場であることは、これからも変わらぬ神社の基盤である。こんにちにおける神社の公共性・公益性は、現代社会の課題や近内に直面している人々の心の支えとなり、地域外の人々を含む支え合いの場となる可能性を求めていくことにあると思われる。

大問 2

A

問 1

- (21) イ (22) エ

**問 2**

(23) ウ

**B**

**問 1**

(31) 過越の祭 [同じ祭礼を指していれば、別の表記も許容する。]

**問 2**

(32) ア

**問 3**

(33) イースター [「復活祭」も可。同じ祭礼を指していれば、別の表記も許容する。]

**問 4**

(34) イ

**C**

**問 1**

著者は死に直面してそれを恐れていたが、人間に与えられている実体は生命のみであって、死はその生命がなくなるだけだと考えるようになった。生命の一日一日の重要性は死が近づいても変わらない。それゆえ、与えられた生命をよりよく生きることが大切だという考えにいたった。

**問 2**

(41) エ

**問 3**

(42) イ